

〔 横浜みなとみらいホール 〕
平成26年度業務報告及び収支決算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688 m ²
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から平成34年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

横浜みなとみらいホール「政策協働型指定管理10年」（平成24-33年度）の中期第1期の最終年度として、これまで取組んできた東アジア文化都市事業に基づく専門性を活かした発信・国際交流を積極的に展開しました。また、ホール全体で近隣商業施設や学校・民間事業者との連携を強化し、新たな層を横浜みなとみらいホールに呼び込む機会を提供しました。

(2) 26年度の業務の方針及び達成目標の総括

①事業

平成26年度についても多岐にわたる事業を実施しましたが、特に年度当初の方針通り、「東アジアの音文化」を中心とした国際交流事業、市民への音楽普及・育成活動に対する取り組みに重点を置きながら、計画通りに実施することが出来ました。また前年度不振だった鑑賞事業についても、

出演者の選択や企画の内容が音楽ファンに受け入れられ、特にオーケストラ事業については殆ど満席の公演となりました。指標の主となる集客・満足度については、概ね目標を達成した他、収支面においても各事業多少ばらつきはありましたが、事業全体ではほぼ計画通りの結果となり、市民普及・育成事業の充実と併せて、第二期へ向けてつなげていくことが出来ました。

②運営

大・小ホールは今年度も 90%を超える高い稼働率で安全に運営することが出来ました。稼働率向上が課題となっている音楽練習室やレセプションルームについて、音楽練習室は空き状況をホームページにアップしたことにより、お客様利便性・稼働率の両面で向上が見られました。レセプションルームは広報チームと連携したHP等PRに努めました。このほか、本年度のホール利用との特徴として、顧客向けコンサートを始めとした企業関わった利用が目立ち、新たな層に横浜みなとみらいホールをアピールする機会に繋がりました。

③広報

これまでも定期的に活用してきた広報媒体や広報手法については、引き続き効果的なタイミングでの露出に務めるとともに、ホームページのトップページにおいて主催公演の魅力を視覚的に捉えやすくするデザインへの変更、メルマガやツイッター、友の会情報誌を活用したホームページ誘導、他のコンサートホールや映画館といった、新たな協力関係を築いたうえでの広報露出の試み、近隣企業や地元オーケストラと連携したホールへの観客誘致イベント、などを行い、プロモーション強化に繋げることができました。企業協賛金も目標額を獲得することができました。

④施設維持管理

施設の経年劣化が大きな課題となる中、日常点検により不具合の早期発見に努め、より一層の安全・安心な施設を提供しました。2月の長寿命化・修繕工事では、横浜市や関係各所と協議・調整を重ね、事故なく終えることができました。

4 経営についての達成状況

(1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

[目指す成果]

自主事業と施設貸出事業の最適配分を考えた経営で、ホールの機能を最大限に発揮する

自主事業と施設貸出事業を含めたトータルなプロモーション活動を展開することにより、横浜みなとみらいホールが持つ機能を最大限発揮します。音楽文化を通じて、都市活性化に寄与するとともに地域社会への貢献度を高めていきます。

[成果についての振り返り]

指定管理第Ⅰ期3か年の最終年度として、これまで取り組んできた東アジア文化事業の総仕上げとなる事業を展開しました。特に台湾オペラ「梧桐雨」・歌劇「竹取物語」のベトナム公演については、日本のみならず相手国のメディアにも取り上げられ、国際交流事業として広く発信されたことから東アジアにおける音楽文化の発信拠点の一つとして、一定の評価を得ることが出来ました。

また、組織内外の連携を強化し、目標を大きく上回る外部資金を獲得しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>(ア)組織内連携と経営強化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●両グループ横断的プロモーション・セールス活動の実施 ●ファンドレイジング活動 <p><u>(イ)財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「東アジア文化都市」を契機に財団事務局や他施設との連携をとりつつ、ホールの専門性を発揮します。 <p><u>(ウ)社会的協働・連携による取組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●教育機関や地元オーケストラ団体との更なる協働・連携に取り組めます。 ●各機関・団体等との協働・連携に際し、池辺館長の関わりについても打ち出していきます。 	<p><u>(ア)組織内連携と経営強化</u></p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 46,775千円</p> <p><u>(イ)財団全体での総合力発揮</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■東アジアにおける文化都市の中心となるような音楽文化事業の実施・発信。 <p><u>(ウ)社会的協働・連携による取組み</u></p> <p>□教育機関との協働・連携企画 5団体以上</p> <p>□市内学校の職業体験 3件以上受入</p> <p>□地元オーケストラ団体との協働・連携企画 1件以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□60,559千円獲得（内訳 助成金：43,077千円、協賛金：17,482千円）。特別顧問と密な戦略をとりながら、協賛メリットを練った企業へのプレゼンを重ねた結果、目標額を超える協賛金を獲得しました。助成金についても、国際交流基金へ積極的にアピールをすることで、新規の助成を得ることが出来ました。</p> <p>□台湾やベトナムとの国際交流事業を実施。両事業とも相手国のメディアに取り上げられるなど、発信性の高い事業となりました。</p> <p>私達の培ったアウトリーチの手法はベトナムのアーティスト達にとって斬新で、今回の経験が今後ベトナムの音楽文化の普及に繋がっていくよう期待されます。</p> <p>□6団体（教育委員会：「横浜市招待ピアノ国際演奏会」出演者の戸塚高校へのアウトリーチ・池辺館長の講演・市立小学校7校アウトリーチ、昭和音大：共催事業・インターン、NHK文化センター：講演会、フェリス学院大学：インターンプロジェクト、神奈川フィル：協働企画実施）</p> <p>□職業体験：5件（市内：4件、市外：1件）</p> <p>□神奈川フィルとの協働・連携：計4件（公開リハーサル：3回、クリスマス・ロビーコンサート：1回）</p> <p>職員交流派遣：11日間の職員研修派遣</p>

(2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

<p>[目指す成果]</p> <p><u>観光振興や創造都市形成に向けた取組みに協力し、魅力ある街づくりに努める</u></p> <p>周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>これまで積み重ねてきた取組みをステップボードとして更に踏み込んだ連携を展開しました。クイーンズスクエアを始めとする近隣商業施設へのアウトリーチ事業の実施・専門文化施設の連携の強化を推し進め、街のなかのこ</p>

ンサートホールとしての存在感を高めました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>(ア)「横浜文化中心」戦略</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民へホールや事業のPRを引き続き行います。 ●MMccを活用し、集客や街のにぎわいに貢献します。 <p><u>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣施設等の情報を収集し、協力体制を強化します。 <p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●他の文化施設等との連携をはかり、相乗効果につなげます。 <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣商業施設との連携を強化し、地域全体でのにぎわいを創出します。 <p><u>(オ)当日参加可能事業の情報発信</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ツイッターで直前公演情報や当日券有無を発信 	<p><u>(ア)「横浜文化中心」戦略</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □近隣マンション自治会への協力・情報提供 ・マンション内設置のチラシラックのメンテナンス 毎月1回 ・西区役所を通じた区内転入者へのチラシ配布 随時 □MMccの活用 ・世話人会への参加情報交換 毎月1回 ・ホールへ呼び込むプログラムの提案 <p><u>(イ)ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■パシフィコ横浜のイベント情報の把握 □ビフォア・アフターコンベンションとしてのMMH利用誘致 年1回以上 <p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □横浜能楽堂との提携 □横浜美術館との提携 □横浜赤レンガ倉庫1号館との提携 <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □クイーンズスクエア等とのイベント協力 年4回 <p><u>(オ)ツイッターでの発信</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □年間100ツイート 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>今年度は、クイーンズスクエアのイベントサークルへ定期的に公演を提供した他、新たにマリントワーとの連携文化事業を3企画実施。この他、近隣商業施設への演奏者の紹介など中間支援も含め、街の音楽文化専門施設としての機能を発揮しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> □定期的に近隣マンションチラシラックのメンテを実施。 □みなとみらい地区の飲料企業、神奈川フィル、みなとみらいホールの3社で協働して、就業後の近隣企業の従業員の方々に、大ホールでオーケストラのリハーサルを鑑賞していただくという企画を実施(約200名参加)し、ホール認知度の向上に努めました。 アニメ「金色のコルダ」スタンプラリー参加。 みなとみらい朝大学「かもめスクール」企画提供 □パシフィコ横浜と定期的な情報交換年4回実施。 コンサートカレンダー等、ホールの新たな情報も提供。 □1回。パシフィコ横浜での会合利用者が分化会としてレセプションルームを利用。 □横浜能楽堂提携：7/6山田和樹×スイス・ロマンド □横浜美術館提携：12/23ハンドベル □横浜美術館提携：1/4お箏とフルート □計4回実施(クイーンズサークルへのイベント提供:3回、ミラクル・ツリー音楽協力:1回) □約350ツイート実施

<p>(カ)パブリシティの強化 ※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>(カ)パブリシティの強化 ※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p>6-(3)「プロモーションの充実について」に記述。</p>
--	--	----------------------------------

5 事業についての達成状況

(1) 多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 世界的に評価の高い公演等、日本を代表するホールにふさわしい事業を充実させる</u></p> <p>平成 26 年度は横浜が東アジア文化都市に選ばれている時期にあたります。東アジアにちなんだ演奏会を多数開催、その中でも平成 25 年度演奏会形式で制作した「竹取物語」のハノイへの引越しオペラ公演を予定、一方的に受け入れるだけでなく横浜からの発信事業となります。横浜芸術アクション事業は継続的に開催、世界的なオーケストラ公演が通年で開催され、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p><u>イ 個性を発揮し、様々な人に継続して来館してもらえよう、創意工夫を凝らした公演等を提供する</u></p> <p>国内を代表するコンサートホールとしての音響特性を最大限活かしつつ、音楽の発信基地としての位置付けの中で、多様な音楽ジャンルに触れていただける事業ラインナップを揃え、市民の多様なニーズに応えます。それによって、他ジャンルのファン層が来館するきっかけを作り、横浜みなとみらいホールの顧客層につなげます。また、定期的開催される低料金の事業シリーズを展開して、クラシック音楽鑑賞者層を戦略的に育てていきます。当ホールに来場する、横浜市民をはじめとする来場者の方に、心躍る体験を提供していきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>アジア内の国際交流事業を予定通り 3 事業実施し、特にベトナムとのオペラ事業については相手国内のメディアを動かすなど、音楽文化をリードする横浜をアピールすることができました。海外オーケストラについても注目度の高い演奏家を起用した公演を開催することで、多くのクラシックファンを集客し、国内を代表するコンサートホールとしての存在感を示しました。また 1 ドルコンサートの夜公演や、クラシック・クルーズの小ホールコンサートの開催など、新たな顧客層獲得のための布石を投げ、次年度の広がりへと繋げてまいりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 世界的に評価の高い公演</u></p> <p><u>(ア)横浜芸術アクション事業として下記の事業を実施</u></p> <p>●山田和樹指揮スイス・ロマンド管</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 世界的に評価の高い公演</u></p> <p><u>(ア)横浜芸術アクション事業</u></p> <p>□顧客満足度 80%以上</p> <p>□合計入場者数 3,000 人以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア オーケストラ公演については、集客など好調で殆どチケットを売り切るような状況であったが、より専門的な公演（オルガン、ドイツリート）については、質の高いものでしたが集客には苦戦し、今後、より広い範囲での販促へと改善してまいります。</p> <p>□顧客満足度 90.4%</p> <p>□合計入場者数3,870名</p>

<p>●レナード・スラットキン指揮リヨン管</p> <p>(イ)クラシックファンが喜ぶような自主イベントを文化庁等の支援を受けながら企画実施</p> <p>●P. ヤルヴィ指揮NHK交響楽団横浜定期</p> <p>●ジルヴェスター・コンサート</p> <p>●ファインデュオ</p> <p>●オルガン・リサイタル(2回)</p> <p>●ジョン・エルウィステナー・リサイタル</p> <p><u>イ 創意工夫を凝らした公演</u></p> <p><u>(ア)多様な音楽ジャンルのイベントを開催</u> (平成26年度はアジア)</p> <p>●台湾オペラ「梧桐雨」</p> <p>●ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭</p> <p>●アジア音楽祭</p> <p>●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration</p> <p><u>(イ)これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に低料金コンサート(子ども向けの「おんがくひろば」は無料)を開催</u></p> <p>●オルガン1ドルコンサート</p>	<p>(イ)自主イベント</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 4,300人以上</p> <p><u>イ 創意工夫を凝らした公演</u></p> <p><u>(ア)多様な音楽ジャンルのイベント</u></p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 3,500人以上</p> <p><u>(イ)低料金コンサート</u></p> <p><input type="checkbox"/>オルガン1ドルコンサート</p> <p>9回実施 入場者数9,000人以上</p>	<p>●山田和樹指揮スイス・ロマンド管(1930名)</p> <p>●レナード・スラットキン指揮リヨン管(1940名)</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 92.0%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数4,825名</p> <p>●P. ヤルヴィ指揮NHK交響楽団(1852名)</p> <p>●ジルヴェスター・コンサート(1813名)</p> <p>●ファインデュオ(269名)</p> <p>●オルガン・リサイタル(402名+331名)</p> <p>●ジョン・エルウィス「白鳥の歌」(158名)</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 88.0%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 3,930人以上</p> <p>●台湾オペラ「梧桐雨」(944名)</p> <p>●ビヨンド・ザ・ボーダー音楽祭(1249名)</p> <p>●アジア音楽祭(794名)</p> <p>●デーモン閣下の邦楽維新(943名)</p> <p>イ 台湾オペラやビヨンド・ザ・ボーダーなど、とても券売の難しい企画ではあったが、担当者や演奏者の努力により、安定した集客を獲得することが出来ました。</p> <p><input type="checkbox"/>オルガン1ドルコンサート</p> <p>夜も含め11回実施</p> <p>入場者9,848名</p>
---	---	---

<input checked="" type="checkbox"/> みなとみらいクラシック・クルーズ <input checked="" type="checkbox"/> みんな集まれ！おんがくひろば	<input type="checkbox"/> みなとみらいクラシック・クルーズ 11 回実施 入場者数 11,000 人以上 <input type="checkbox"/> みんな集まれ！おんがくひろば 6 回実施 800 人以上	<input type="checkbox"/> みなとみらいクラシック・クルーズ 11回実施 入場者数11,059人 <input type="checkbox"/> みんな集まれ！おんがくひろば 6回実施 685人
--	--	---

(2) 新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業、国内外から注目を集めるものを企画制作する</u></p> <p>横浜みなとみらいホール独自の企画によって、新たな創造の場・創作拠点となり、国内外から注目を集めるホールになります。国内のホールにも企画を巡回させ、横浜みなとみらいホールの名を発信します。</p> <p><u>イ 「横浜芸術アクション事業」を実施する</u></p> <p>成功に終わった平成25年度の「横浜音祭り 2013」の成果を踏まえ、平成26年度も予算の範囲内で魅力的な演奏会を開催していきます。特にYokohama Hands-on Opera Projectの集大成ともいべきハノイでの新作オペラ「竹取物語」上演企画を開催、ホールの独自性を東アジアでアピールしていきます。また、優良なオーケストラ公演を開催することで、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>クリスマス歌合戦や小ホールオペラなどの新たな試みの企画や広報手法は、ネットを通じて全国に周知し多くの人達の注目を浴びました。歌劇「竹取物語」については、横浜でもハノイでも多くの方達に受け入れられ、国際文化交流として大きな役割を果たすことが出来たほか、新演出にはなりますが、27年度のびわ湖ホールの主催事業として、オペラが取り上げられる予定です。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業</u></p> <p><u>(ア)横浜みなとみらいホール独自の</u> <u>小ホールオペラシリーズの開催</u></p> <p>●「セビリヤの理髪師」「竹取物語」</p> <p><u>(イ)現代作曲家シリーズ</u></p> <p>●若手作曲家を起用した「Just Composed2015」</p> <p><u>(ウ)オルガン・シリーズ</u></p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 独自性の高い事業</u></p> <p><u>(ア)小ホールオペラ</u></p> <p><input type="checkbox"/> 総入場者数 600 人 <input type="checkbox"/> 顧客満足度 80%</p> <p><u>(イ)現代作曲家シリーズ</u></p> <p><u>(ウ)オルガン・シリーズ</u></p> <p><input type="checkbox"/> 他都市連携事業 1 回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 小ホールオペラシリーズのフラッシュモブなど新たな広報手法を定着させることで、内外から周知されるようになりました。今年度の「Just Composed」は、出演団体の人気が高かったこと、プログレという異ジャンルに着目したことで、新たな層を獲得し、当事業としてはとても高い集客とすることが出来ました。</p> <p>(ア) <input type="checkbox"/> 総入場者数 971 人 <input type="checkbox"/> 顧客満足度 89.1%</p> <p>(イ) <input type="checkbox"/> 若手作曲家：挟間美帆への委嘱 <input type="checkbox"/> 入場者数 295 人</p> <p>(ウ) <input type="checkbox"/> ミューザ川崎、神奈川県民ホールとの連携 オルガンツアー</p>

<p>○オルガンを持つ他文化施設との連携事業の実施</p> <p><u>イ 横浜芸術アクション事業</u></p> <p><u>(ア)横浜オリジナルのオペラ事業「Yokohama Hands-on Opera Project」をベトナムで開催します</u></p> <p><u>(イ)優良なオーケストラ公演などを横浜に招致し公演を開催します</u></p> <p>5-1-ア参照</p>	<p><u>イ 横浜芸術アクション事業</u></p> <p><u>(ア)横浜オリジナルのオペラ事業</u></p> <p><input type="checkbox"/>ベトナムでオペラ公演を開催します</p> <p><input type="checkbox"/>同時にハノイ市内で小学校等へアウトリーチを実施します。</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数 600 人</p> <p><u>(イ)「横浜芸術アクション事業」</u></p>	<p>イ 困難を極めたベトナムとのオペラ事業でしたが、職員が一丸となってやり遂げ、内外ともに評価の高い公演を実現いたしました。また国際交流基金「アジアセンター」より助成金を得たことも、事業の成功へと繋がりました。</p> <p><input type="checkbox"/>2回公演の開催</p> <p><input type="checkbox"/>3か所でのアウトリーチ</p> <p><input type="checkbox"/>入場者数950人</p>
---	--	--

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 若い音楽家の育成や支援に取り組む</u></p> <p>若手の芸術家を鑑賞事業への出演や、体験型ワークショップ講師として起用し任せることで、日本の音楽芸術振興につながるような芸術家育成拠点となります。若手の演奏家としての活動支援とともに、普及啓発を担う人材としての成長を支援します。</p> <p><u>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取り組む</u></p> <p>市民が鑑賞行為以外のさまざまな形で音楽文化との関わりを通じ、積極的に芸術とコンタクトし合う気風を醸成し、音楽文化の定着をより強固にします。市民の方々が芸術家と市民をつなぐ「コーディネーター」となり、活躍する土壌を作ります。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>若手演奏家育成やコーディネーターの育成は、これまでの成果をもとに、今年度も重視して実施いたしました。特に市民プロデューサーの活動のサポートを強化し、音楽社会の振興のために取り組んでまいりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 若い音楽家の育成や支援</u></p> <p><u>(ア)オペラ</u></p> <p>●小ホールオペラ</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 若い音楽家の育成や支援</u></p> <p><u>(ア)オペラ</u></p> <p><input type="checkbox"/>若手歌手登用 6人以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア ほぼ予定通りに事業を実施してまいりました。若手音楽家を育成し、起用することで、芸術性の高いアウトリーチやワークショップを実現しております。</p> <p>(ア)</p> <p><input type="checkbox"/>若手歌手登用 11人</p>

<p><u>(イ)現代作曲家シリーズ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●Just Composed 開催 ●関連プレトーク開催 <p><u>(ウ)みんな集まれ！おんがくひろば</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●6回開催予定 <p><u>(エ)邦楽ワークショップ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●2回開催 <p><u>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</u></p> <p><u>(ア)「コンサートを作るう」企画修了生</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画参加修了生が活動を継続する ●年間6回プロデュース事業開催 <p><u>(イ)音楽大学との連携事業の継続を通じ、大学生が地域での活動に資する提携の在り方を探ります。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●音楽大学リレーションシッププログラム 	<p><u>(イ)現代作曲家シリーズ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □若手作曲家 登用 □若手演奏家 1名 □プレトークの運営はコンサートを作るうメンバー <p><u>(ウ)みんな集まれ！おんがくひろば</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □若手演奏家 6人以上登用 □合計入場者数 800人 <p><u>(エ)邦楽ワークショップ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □参加者 200人以上 <p><u>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</u></p> <p><u>(ア)企画修了生による協力イベント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □修了生の参加者数 30人以上 □合計入場者数 300人以上 <p><u>(イ)音楽大学との連携事業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □提携大学数 4校 	<p>(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> □若手作曲家 : 狭間美帆への委嘱 □若手演奏家 今回はベテランのモルゴーアケアルテットに出演依頼することになった。作曲家の若い狭間氏本人の出演の可能性もあったが、細かい調整の結果、狭間氏が演奏会に出演することはなかった。 □プレトークの開催 3/8 (ウ) □9人登用 □685人 <p>(エ)</p> <ul style="list-style-type: none"> □体験WSから参加者数が増えるトーク+演奏イベントとして開催 (398名) 11/27 外山香ほか 303名 1/9 みんな集まれ 95名 <p>イ 市民プロデューサー育成事業を重視して市民による企画公演を実現させました。また例年おこなっていた音楽大学アートマネジメント学生による企画参画はカリキュラムの都合上かかないませんでした。過去に経験した学生が参画し、スキルアップに努めました。</p> <p>(ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> □修了生の参加者数のべ45人 □637人 12/23 250名 1/4 250名 3/29 72名 3/29 65名 <p>(イ)</p> <ul style="list-style-type: none"> □昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、玉川大学、フェリス学院大学
---	--	---

<p>(ウ)NPO 法人と提携し、より地域の市民の方々の目線に立った企画立案に励みます。</p> <p>●NPO 法人との提携</p> <p>(エ)オルガン</p> <p>●オルガニスト・インターンの育成</p> <p>●1 ドル・コンサートでの修了生起用</p>	<p>(ウ)NPO 法人と提携</p> <p>□提携 NPO 法人数 5 団体</p> <p>(エ)オルガン</p> <p>□1 年をかけて 1 名の育成</p> <p>□演奏会起用 2 名</p>	<p>(ウ)</p> <p>□ハマのJACK、STスポット、じぶん未来クラブ、友情の架け橋音楽国際親善協会、横浜市シティオペラ</p> <p>(エ)</p> <p>□小野田未奈の育成</p> <p>□1 ドルコンサートへの浅井美紀、小高園里子の起用</p>
--	---	--

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>・子ども対象の、音楽による創造活動体験の企画を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介護を必要とする子どもなどへの取り組みも行う</p> <p>横浜みなとみらいホールで 15 年かけて最も力を入れてきた子ども対象事業について、今後 10 年の展開も視野に入れて、事業を再編しつつ、活性化させていきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>実績のある「こども事業」において、今年度も計画通り実施することができました。特に新しい取り組みのジュニア・ビックバンドの育成については、協賛社へのアピールしながら自己資金を獲得、より幅広い活動に繋げることができ、単なる「こども事業」に留まらず当ホール独自の発信的な事業としての位置づけともなっております。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>(ア)季節ごとに子ども向け事業を開催し、1 年通してどの世代の子どもにも音楽に触れられる機会を提供します。</p> <p>春「こどもの日」「金の卵」</p> <p>夏「遊音地」</p> <p>秋「心の教育」「0 歳からのオルガン」</p> <p>冬「アウトリーチ」</p> <p>(イ)ホール固有のジュニアビッグバンドの育成</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)子ども向け事業</p> <p>□入場者数 40,000 人</p> <p>□顧客満足度 80%以上</p> <p>(イ)ホール固有のジュニア演奏団体</p> <p>□参加者 20 名</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>多彩な「こども事業」を実施し、達成指標以上の子ども達が当ホールに来館いたしました。また今年度より毎週の練習を開始した「ジュニア・ビックバンド」は、ホール内の活動に留まらず、周辺施設での演奏活動も活発におこない、街の賑わいに貢献いたしました。</p> <p>(ア)子ども向け事業</p> <p>□入場者数 50,003 人</p> <p>□顧客満足度 93%</p> <p>(イ)ホール固有のジュニア演奏団体</p> <p>□参加者 20 名</p>

<p>●みなとみらい Super Big Band の育成</p> <p><u>(ウ)障がいのある子ども向けオルガンワークショップを実施する</u></p> <p><u>(エ)音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</u></p>	<p><u>(ウ)障がいのある子ども向けオルガンワークショップ</u></p> <p>□年間2回開催</p> <p><u>(エ)音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</u></p>	<p><u>(ウ)障がいのある子ども向けオルガンワークショップ</u></p> <p>□年間3回開催</p> <p><u>(エ)音楽専科教員と連絡体制を整え、相互の信頼関係を強化する</u></p> <p>ミュージックティーチャーズプロジェクトの開催2/25</p>
---	---	---

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p>・多様なアウトリーチ等の研究をし、社会貢献する</p> <p>アコースティックな楽器をテーマとして、様々な楽器の多様なアウトリーチ事業を展開し、ノウハウを蓄積していきつつ、音楽に触れにくい地域の方々に音楽文化の魅力を直接伝え、地域への愛着を育てます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>若手育成事業で培った若手演奏家を中心に、多くのアウトリーチを展開してまいりました。また、横浜のみならず、ベトナムとの事業を通じてベトナム人アーティストにもアウトリーチの重要性を良く理解してもらい、今後ベトナムでの音楽文化の振興に繋げることが出来ました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><u>(ア)小学校・障がい者施設をはじめとしてアウトリーチ事業に積極的に取り組みます。</u></p> <p>●小学校 ●障がい者施設 ●病院・福祉施設等</p> <p><u>(イ)障がいのある方へのサービス拡充に努めます。</u></p> <p>●一般層向け、これからの鑑賞者向けに入門用事業として定期的に行うコンサートへの障がい</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>(ア)アウトリーチ事業</u></p> <p>□3校 □1施設 □1施設</p> <p><u>(イ)障がいのある方へのサービス拡充</u></p> <p>□障がいのある方の総参加者数 年間延べ70人</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>当ホールの事業で培った音楽家のネットワークを使い、様々な手法でのアウトリーチやレクチャーコンサートを実施いたしました。</p> <p>□市立小学校7校 □盲特別支援学校1施設 □病院等ではなく商業施設へのアウトリーチに注力しました。クイーンズサークル、マリインタワー等10回</p> <p>(イ)</p> <p>□上記以外の障がいのある方の主催事業での来場者数 99人</p>

<p>のある方の参加者数の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主企画に障がい者割引料金の設定 ●視覚障がい者対象のオルガンワークショップ <p>(ウ)「街の音楽院」シリーズ等レクチャーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●街の音楽院 ●その他のレクチャー(コンサート)等 	<p><input type="checkbox"/>80%以上</p> <p><input type="checkbox"/>2回開催</p> <p>(ウ)レクチャーコンサート</p> <p><input type="checkbox"/>総入場者数 250人</p> <p><input type="checkbox"/>街の音楽院 3回開催</p> <p><input type="checkbox"/>その他レクチャー等 3回開催</p>	<p><input type="checkbox"/>4,000円以上のチケットのもので 85% 低廉な金額の1ドル・みなとみらいクラシッククルーズについては、障がいのある方の事業参加が十分なされている</p> <p><input type="checkbox"/>2回開催</p> <p>(ウ)</p> <p><input type="checkbox"/>総入場者数 156人</p> <p><input type="checkbox"/>街の音楽院 5回開催</p> <p><input type="checkbox"/>その他レクチャー等 4回開催</p>
--	---	--

(6) ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理</u></p> <p>主催公演の写真・映像・音声の記録化を実施していきます。記録化した情報の活用方法をwebでの発信を中心に検討していきます。</p> <p><u>イ 音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能を発揮</u></p> <p>芸術家や諸機関とのネットワークを生かし、「街の音楽院」などの講演イベント企画の中で市民の音楽活動に資するような講演会を実施していきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>街の音楽院に裏方スタッフの役割について市民に伝える「ステージマネージャー」を開催。過去の当館の主催公演のステージ図面などの蓄積記録も活用し、市民の音楽活動にも資するノウハウ提供を実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 公演情報の整理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●主催公演の写真の記録を残します ●主催公演の映像の記録を可能な範囲で残します ●主催公演の音声の記録を可能な範囲で残します <p><u>イ コーディネーター機能</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●街の音楽院や自主イベ 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 公演情報の整理</u></p> <p><input type="checkbox"/>写真記録 100%</p> <p><input type="checkbox"/>映像記録 50%</p> <p><input type="checkbox"/>音声記録 70%</p> <p><u>イ コーディネーター機能</u></p> <p><input type="checkbox"/>3回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア</p> <p><input type="checkbox"/>写真記録 100%</p> <p><input type="checkbox"/>映像記録 56%</p> <p><input type="checkbox"/>音声記録 83%</p> <p>イ</p> <p><input type="checkbox"/>「オルガンレクチャー」、「ステージマネージャー」、「大ホール見学会」の3回開催。</p>

<p>ントにまつわる講演会で半数程度を市民音楽活動に役立つ内容にします。5-(5)-ウ参照</p>		
---	--	--

6 運営についての達成状況

(1) 利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 柔軟に対応して、市民の創作活動・発表の場として広く認知されるよう取り組む</u></p> <p>多様な利用希望や利便性に配慮した柔軟な対応により、当館の特性を活かした施設提供を行います。また、市民の創作活動や発表の場として広く認知され愛される取組みを展開します。</p> <p><u>イ クラシック音楽以外の公演を提供し、音楽を楽しむ層の拡大に取り組む</u></p> <p>クラシック音楽に留まらない、多様で充実したプログラムを提供します。</p> <p><u>ウ 来館者に心地よい適切な環境が提供され、日本を代表するコンサートホールに相応しいと感じられる、質の高いサービスを安定的に提供する</u></p> <p>利用者の満足度を高めるべく、利用者と直接意見を交わす場を設けてニーズを探ります。インターネットを活用したアンケートも定期的実施します。また、第一線でお客様と接するレセプションニストの接客能力のブラッシュアップの為、年間を通じて研修を行います。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>企業式典での大ホール利用が数件入り、初めて横浜みなとみらいホールに足を運ぶという方が大勢いらっしゃいました。「パイプオルガン演奏の迫りに圧倒された」という声も多く聞かれ、新しい顧客層に効果的なアプローチができました。また、企業の顧客向けの演奏会も開催され、主催の企業および招待客、双方へのアピールが出来る良い機会となり、今後の継続利用に結び付けて行きます。</p> <p>レセプションニストについては、定期的なミーティングを重ねて現場との情報共有を密にし、お客様の声を活かして、全体的なスキルアップを心がけました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームページ上に音楽練習室やレセプションルーム等のプロモーション画像等を掲載し認知度を高めます。 ● コンサートカレンダーやホームページ上に、特徴的な貸館事業 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 年度内に実施 ■ コンサートカレンダー・ホームページ 年間：2事業掲載 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ホームページ上に音楽練習室・レセプションルームのPR画像を掲載。また、音楽練習室については、HP上で空き状況を掲載した結果、認知度・稼働率向上に繋がりました。 ■ 5事業掲載（コンサートカレンダー：4事業、HP：1事業）

<p>を様々な切り口から紹介していきます。</p> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <p>●比較的使用方法に制限が少ないレセプションルームを活用した多様なジャンルの音楽利用の誘致</p> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <p>●利用者懇談会の実施</p> <p>●インターネットを活用した顧客・潜在顧客アンケートの定期的実施</p> <p>●レセプションニスト研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用時研修 ・フォローアップ研修 ・チーフ研修 ・コーチャー研修 ・全体研修 ・避難訓練 	<p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u></p> <p>□レセプションルームでのクラシック以外での音楽利用：3公演以上</p> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u></p> <p>□年1回実施</p> <p>□年間1回実施</p> <p>□レセプションニスト研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4日間 ・採用6か月後1回 ・年1回 ・年1回 ・年1回 ・年2回以上実施 	<p>□1公演（クラシック音楽での公演利用8件、国際的なマスタークラス利用等もありましたが、クラシック音楽以外の公演利用として成約に至ったものは1公演でした。）</p> <p>□大ホール利用者にアンケートを実施。主に他ホールとの比較する視点での質問を投げて、ホールの強み・弱みを検証しました。</p> <p>□練習室で実施（1～3月） 回収率を勘案し、直接アンケートにより、音楽練習室に関するアンケートを実施。</p> <p>□予定通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用時研修：4/20, 22, 23, 25（4日間） ・フォローアップ研修：10/26 ・チーフ研修：3/7 ・コーチャー研修：5/21, 24 ・全体研修年：10/25 ・避難訓練：9/24, 2/24
--	--	---

(2) 日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 施設の貸出について、音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む</u></p> <p>レセプションルームのサロンコンサート等での単独利用など、大・小ホールに限らず、各室場の特性を活かした利用促進を図ります。</p> <p><u>イ 利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営を改善する</u></p> <p>自主事業では、全事業でアンケートを実施し、鑑賞者・参加者のニーズを探ります。出演者・企画者等ともアンケートを共有しあうことで、お客様の声を次回以降の企画に生かします</p>
--

運営では、利用者懇談会やアンケートを引き続き実施し、利用者のニーズを探ります。また、お客様と第一線で接するレセプションистのマネージャーとのミーティングを定期的を実施し、現場の声を共有してホール運営に活かします。

ウ 施設見学の希望に対しては、利用者の妨げとならないよう配慮のうえで、可能な限りホールの利用下見・見学を対応します。その他、イベント的な要素を加えたホール見学会を実施し、ホール利用を検討している方だけでなく、多くのお客様にホールをより深く知って頂く機会を設け、ホールのファンの獲得につなげます。

エ ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品を揃え、ショップ等で販売する

来館者サービスの一環として、ショップでは「音楽のある生活を楽しむ」をコンセプトに様々なグッズを展開しています。引き続き「横浜みなとみらいホールでしか買えないもの」や気軽にお買い求めいただける商品ラインナップを更に充実させていきます。

オ 公演等に関する問い合わせや相談に応じ、当館公演等のチケットを販売する窓口を設けます

カ 主催者の求めに応じ、公演開催時には飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意する

利用者サービスの一環として、専門業者に委託して、開場中のドリンクコーナーの営業を行います。また、公演の内容に応じたより効果的な営業形態について引き続き可能性を探ります。

キ 託児サービスを提供する

専門業者に委託して、公演中の託児サービスを実施します。また、託児サービスの存在を多様な角度から積極的に周知し、委託業者にも協力を仰いで、託児サービスのニーズと効果を探ります。

[成果についての振り返り]

レセプションルームの利用について、友の会会員向けのセミナーや説明会・マスタークラス等での利用が定期的に入りました。また、レセプションルーム利用について、HPでのPRも行い、今後の稼働率向上に向けた取り組みにも着手しました。練習室については、7月から空き状況がホームページで確認できるようになり、事前確認の上でお電話されるお客様も増え、利便性・稼働率ともに確実にアップしています。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<u>ア 利用促進</u> ●コンサートでのレセプションルーム単独利用 ●利用率 大ホール 小ホール リハーサル室 レセプションルーム 音楽練習室	<u>ア 利用促進</u> <input type="checkbox"/> 年8件 <input type="checkbox"/> 利用率 ＊95% (H24実績100%) ＊98% (H24実績98%) ＊50% (H24実績51%) ＊20% (H24実績23%) ＊77% (H24実績75%)	<input type="checkbox"/> 年8件 <input type="checkbox"/> 26年度利用率 99% (時間帯単位：94%) 97% (時間帯単位：88%) 72% (時間帯単位：45%) 22% 79% (時間帯単位)

<p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>●レセプション・マネージャーミーティングの実施</p>	<p><u>イ 満足度の高い運営</u></p> <p>□年 10 回</p>	<p>□年11回実施。</p> <p>連携を密にとり、情報共有することで、レセプション全体の接客スキルのアップを目指しました。</p>
<p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>●楽しみながら施設を見学できるイベント的な下見会を実施。</p>	<p><u>ウ 施設見学</u></p> <p>□年 1 回実施</p>	<p>□年 1 回実施</p> <p>ピアノ 3 機種の聴き比べや舞台スタッフの裏話等、ホール利用希望者の興味を深める内容で実施しました。</p>
<p>●通常のホール利用下見対応</p>	<p>□年間 90 件</p>	<p>□91件</p>
<p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>●売れ筋の傾向を見極め、新規取扱い商品の開拓</p> <p>●立ち寄りたくなるショップの PR</p>	<p><u>エ ショップ販売</u></p> <p>□新規取扱い商品 5 点以上</p> <p>■レイアウト変更など、ショップの入りリニューアル</p>	<p>□年間57点の新規取扱い。ピアノ柄のチケットファイルとクリアファイルの売れ行きは好調でした。</p> <p>■季節に合わせてレイアウトのリニューアルを実施。</p>
<p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p>●市民のホールとして、市民優遇できるチケット設定を行います。</p>	<p><u>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</u></p> <p>□チケットの市民先行販売 3 公演以上</p>	<p>□計4公演（自主事業:3件、協力公演:1件）</p>
<p><u>カ ドリンクコーナー</u></p> <p>●営業形態の検討</p>	<p><u>カ ドリンクコーナー</u></p> <p>■効率的かつ効果的の営業形態を検討</p>	<p>□公演内容・規模に応じた営業形態について、継続して可能性と効果を検討しました。</p>
<p><u>キ 託児サービス</u></p> <p>●HP 等を活用した託児サービスの周知</p> <p>●託児サービスの利用者アンケートの実施</p>	<p><u>キ 託児サービス</u></p> <p>□年 2 回以上</p> <p>□年 1 回以上</p>	<p>□2回（ツイッターやホームページトピック欄で周知。雑誌『ELLE MAMAN』掲載もありました。）</p> <p>□年 1 回実施</p>

(3) プロモーションの充実

<p>[目指す成果]</p> <p><u>ア 適切な商圏・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む</u></p> <p>プロモーションを強化し横浜みなどみらいホール全体としての発信力を高めることによって、ホールの魅力を伝え、お客様との信頼関係を構築し、「共感」を軸とした独自ブランドを形成します。</p> <p><u>イ Web ツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を見やすく提供する</u></p>
--

購買前行動に直結しており、低コストで機動性に優れた WEB サイトを中心としたオウンドメディアの充実を図ることにより、発信力を強化します。

[成果についての振り返り]

ホームページについては、トップページがスクロールするよう改良したことを筆頭に、練習室の空き状況確認、懸賞プレゼントの応募受付など、視覚的なPRとお客様の利便性に考慮したページ作りを心がけました。友の会の情報誌（チケットインフォメーション）も、券売のお知らせ以外に、プレゼント告知や会員限定イベントのお知らせなども積極的に掲載し、会員特典をより強く打ちだすよう工夫しました。また、ミューザ川崎と合同で年越しコンサートの共同広報する試みを行い、「川崎から横浜へ」というお客様の流れをつくりました。この他、異ジャンルとのコラボレーションとして、映画館「横浜ブルク13」と相互連携キャンペーンを実施。収録された海外オペラを映像で楽しむ映画館の観客に対し、コンサートホールで生演奏を愉しむスタイルを提案することが出来ました。更に、ホールのオペラ公演歌手を起用した商業映像を制作。映画館で上映することで、映画館において横浜みなとみらいホールを宣伝するという初の試みも実施しました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●友の会入会キャンペーン実施 ●各媒体との関係強化・情報発信力アップ ●公開リハーサル・ロビーコンサート実施 ●プレス懇談会実施によるメディアとの強固な関係構築 	<p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>新規入会者 年間 500 名 <input type="checkbox"/>各媒体への情報掲載 月間 70 件 <input type="checkbox"/>公開リハーサル・ロビーコンサート実施 計 5 回 <input type="checkbox"/>年 1 回 	<p><u>[実施内容と達成状況]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>444名。人気アーティストのトークイベントや、ホールのオルガンについて学ぶレクチャーイベントなどを実施しました。 <input type="checkbox"/>月間約120件 <input type="checkbox"/>年間6回実施 <input type="checkbox"/>年間2回実施 記者訪問にも力を入れ、記者からも信頼を得ることができました。
<p><u>イ WEB を活用した見やすい情報提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンサートカレンダーの発行 ●WEB サイト拡大（ホールの取組み紹介ページ、練習室の空き状況閲覧機能追加）によるアクセス数アップ ●メールマガジンの効果的な配信 	<p><u>イ WEB を活用した見やすい情報提供</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>コンサートカレンダー 年 4 回 <input type="checkbox"/>WEB サイトアクセス数 月間 23 万件 <input type="checkbox"/>メールマガジン配信 月 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>年4回の4か月コンサートカレンダー発行の他に、年間カレンダーも発行し、ホール広報を強化しました。 <input type="checkbox"/>月間約20万件。 <input type="checkbox"/>毎月1回配信実施

<ul style="list-style-type: none"> ● ツイッター運用・活用 ● WEB上の読み物ページ作成 ● チケットセンターWEBでの販売強化 	<ul style="list-style-type: none"> □ ツイッターでの発信年間100ツイート □ ツイッターフォロワー3,000件 □ WEB上の読み物ページ年4回配信 □ WEB上でのチケット購買率15% 	<ul style="list-style-type: none"> □ 年間約350ツイート □ 年度末約3,200件 □ 年4回掲載 □ WEB上でのチケット購買率22.5%
--	--	---

(4) 条例の遵守

	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 休館日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保守点検、定期整備、大規模修繕のため、必要な施設点検日（休館日）を設定します。 <p><u>イ 開館時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 条例及び規則に基づく設定 ● 利用者の希望等、延長利用などに柔軟に対応します。 <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 条例に基づいた適切な料金徴収 <p><u>エ 貸出業務</u></p>	<p><u>ア 休館日</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 大規模修繕に対応する10日以上連続休館を含み年間40日間の休館日を確保します。 <p><u>イ 開館時間</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □ 9:00～22:00 ■ 早朝利用、深夜利用など可能な範囲で対応。 <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 条例に基づく適正な料金徴収を行います。 <p><u>エ 貸出業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。 ■ 撮影等の利用についても柔軟に対応します。 <p><u>オ 留意事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 予定どおり、長寿命化工事のための2週間連続休館を含む40日以上休館日を確保しました。 □ 9:00～22:00を基本開館時間として運営。 ■ 利用者の希望に応じ、早朝・深夜の利用にも柔軟に対応しました。 ■ 条例に基づく適正な料金徴収を実施しました。 ■ 利用者ニーズと条例・規則に基づいた貸出を行いました。 ■ ドラマ収録、音楽番組への収録等、柔軟に対応しました。 ■ 条例・規則に基づき、設置目的・安全等に配慮した貸出を実施しました。

利用状況等について

施設名	26年度	
	稼働率	利用者人数
大ホール	99% (94%)	422,378 人
小ホール	97% (88%)	87,991 人
リハーサル室	72% (45%)	14,256 人
音楽練習室	79%	20,244 人
レセプションルーム	22%	6,579 人
その他	—	3,948 人
合計		555,396 人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

7 施設維持管理について

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施 ●舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託 ●統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。 ●横浜市との連携による大規模修繕計画の策定 ●QSY 管理組合や横浜市と連動した危機管理の実施 ●過失事故の防止 	<p><u>ア 適切な管理</u></p> <p><input type="checkbox"/>定期メンテナンス 年 1 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガン 年 1 回 ・コンサートピアノ年 1 回 <p>・練習室ピアノ 年 12 回</p> <p>・リハーサル室ピアノ 年 1 回</p> <p>・楽屋ピアノ 年 3 回</p> <p>■設備不具合や要清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行います。</p> <p>■専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕時期の決定、省エネ提案などに反映させます。</p> <p>■休館日設定や、予算面などの情報交換を密にはかり、大規模修繕計画を進めます。</p> <p><input type="checkbox"/>過失事故 0 件</p>	<p><u>ア 適切な管理</u></p> <p><input type="checkbox"/>定期メンテナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガン保守：1/26～29 ・コンサートグランドピアノ保守点検 スタインウェイ 1 号機：8/14, 15 スタインウェイ 5 号機：3/5, 6 スタインウェイ 6, 7 号機：3/30, 31 ヤマハ CFX：8/14, 15 ベーゼンドルファー：2/13, 14 ・練習室ピアノ：毎月実施（年 12 回） ・リハーサル室ピアノ： スタインウェイ 3 号機：8/14, 15 ・楽屋ピアノ：7, 10, 2月実施（年3回） <p>■各所の不具合等、連絡を密にとり相互連携を図りながら管理しました。</p> <p>■設備や清掃関係全般を委託による専門知識・技能を十分に活用し、修繕のタイミングや省エネ提案・中期修繕計画に反映することができました。</p> <p>■QSY改修計画に基づき、BAシステム改修工事について会議に出席。長寿命化工事や公共建築物天井脱落対策工事の計画を進めました。</p> <p><input type="checkbox"/>過失事故0件</p>
<p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●QSY 管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかる ●設備関係の点検・定期整備業務 ●舞台関係の点検・定期整備業務 ●設備・舞台スタッフとの小破修繕にかかる情報 	<p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <p>■会議への参加、必要事項を施設内に周知</p> <p>■点検・定期整備事項について、年間計画作成・実施</p> <p><input type="checkbox"/>客席保守点検：大小ホールとも 年 2 回</p> <p><input type="checkbox"/>舞台照明定期保守年 3 回</p> <p><input type="checkbox"/>舞台音響定期保守年 2 回</p> <p><input type="checkbox"/>舞台機構定期保守年 3 回</p>	<p>■事務局会議・理事会・共同防火協議会（定期総会）等都度参加し共通認識を深め、交通規制などの必要事項を施設内に周知しました。</p> <p>■年間計画を作成・実施しました。</p> <p><input type="checkbox"/>大ホール：8月、2月 小ホール：9月、3月</p> <p><input type="checkbox"/>年3回実施（6, 10, 2・3月）</p> <p><input type="checkbox"/>年2回実施（8, 2月）</p> <p><input type="checkbox"/>年3回実施（7, 11, 3月）</p>

<p>交換</p> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <p>●法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>●警備会社による安定的、効率的な保安警備を行います。</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>●警備会社による管理を行い、利用者の安全を図るとともに、施設の窓口としての対応を行います。</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <p>●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します。</p> <p>●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します。</p> <p>●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認を配慮します。</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>●QSY 防火防災管理協議会に参加</p> <p>●防災管理自主点検</p> <p>●防災設備点検</p> <p>●消防訓練・防災訓練</p>	<p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <p>□空気環境測定 年6回</p> <p>□照度測定 年2回</p> <p>■ごみ分別の徹底</p> <p>□エコにつながる提案の実現 年間1件以上</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <p>■入館チェック、巡回等による施設内の安全確保</p> <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <p>■楽屋口・搬入口の対応チェックを定期的に行います。</p> <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <p>□植栽手入れ 年5回</p> <p>■日々の状況把握に努めます。</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>■地域全体での情報共有</p> <p>□年2回</p> <p>□年1回</p> <p>□避難訓練コンサート 1回を含む年2回以上</p>	<p>□6回実施 (4/26、6/27、8/31、10/25、12/7、2/24)</p> <p>□2回実施 (9/11、3/10)</p> <p>■ゴミ分別を徹底しました。</p> <p>□全館トイレの排水流量の調整、閉館後の保安灯の消灯時間の見直しにより、省エネを図りました。</p> <p>■入館チェック、巡回等による施設内の安全確保を図りました。</p> <p>■楽屋口・搬入口の対応チェックを定期的に行いました。</p> <p>□5回実施 (4/7、6/9、8/25、10/20、3/2)</p> <p>■害虫の発生もなく、臨時の薬剤散布を施すことなく植栽の管理ができました。</p> <p>■防火防災管理協議会や消防計画見直し会議、地区合同防災訓練等に参加し、情報共有を図りました。</p> <p>□QSY防火防災管理協議会に年2回参加。(5/29、11/26)</p> <p>□防災管理点検を年1回実施。(1/26)</p> <p>□年3回の消防訓練・防災訓練を実施。</p> <p>①消防訓練9/9 ②避難訓練コンサート9/24 ③消防</p>
---	--	--

<p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災マニュアル、危機管理マニュアル ●救急要請、事故報告 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気主任技術者 ●建築物環境衛生管理技術者 ●ボイラー技師 ●無線従事者 ●甲種防火管理者及び防災管理者 <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例及び規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行います。 	<p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設内での周知の場を設定 ■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに、スタッフへの周知を徹底します。 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■QSY 管理組合の電気主任技術者をもって配置にかえます。 ■管理センターに技術者を設定（ボイラー含む） □防火・防災管理者 職員 1 名配置 □無線従事者 2 名配置 <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■事例が発生する場合、速やかに手続きを行います。 	<p>訓練2/24（・地震+火災・地震+津波）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■消防訓練時に周知しました。 ■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行い、スタッフへの周知を徹底しました。 ■QSY管理組合の電気主任技術者をもって配置に変わりました。 ■管理センターに建築物環境衛生管理技術者を配置しました。（ボイラー技師含む） □防火・防災管理者職員 1 名を配置しました。 □無線従事者を 2 名配置しました。 ■H26年度は該当する利用はありませんでした。
---	---	--

8 その他の業務について

(1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜市の政策に則した運営 <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映した、効果的に年間業務計画を策定します。 <p><u>ウ 業務評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●PDCA サイクルを徹底し、 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □年 4 回実施 <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □モニタリング 年 4 回以上 ■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげます。 <p><u>ウ 業務評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □自己評価・横浜市評価 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 5 回実施。(8/14, 12/16, 1/6, 1/15, 3/13) □10回実施。(4/16、5/28、7/1、7/29、8/28、10/30、11/26、12/22、1/20、3/24) ■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画を策定しました。 □自己評価・横浜市評価 年 2 回実施。
---	---	---

各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。	年2回 ■指定管理者選定評価委員会による外部評価・業務視察・ヒアリングの実施	■指定管理者選定評価委員会による外部評価、業務視察・ヒアリングを実施。
-----------------------------------	---	-------------------------------------

(2) 収支について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u> ●協賛企業の新規獲得 <u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u> ●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。 ●残業を減らすことで、職場環境の改善と人件費削減を図ります。	<u>ア 収入</u> <input type="checkbox"/> 協賛企業を新たに開拓します。 <u>イ 支出</u> <input type="checkbox"/> 24年度比 電気使用量・冷熱水量 △1% <input type="checkbox"/> 24年度比 残業時間△5%	[実施内容と達成状況] <input type="checkbox"/> 新規開拓に努め、1社から協賛金・1社から寄付金を獲得しました。 ■24年度比電気使用量 電気使用量：対24年度比△2% 冷熱水量：対24年度比8.8%増。使用量の大半を占める大・小ホール空調機の運転時間が2倍以上であったことが要因の一つです。 ■24年度比 残業時間対24年度比△39%

9 組織について

(1) 組織について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<u>ア 明確な責任体制の構築</u> ●新たな組織図及びグループ毎の業務分担表作成 ●組織内意思決定 <u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u> ●事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人材と人員を確保し、より	<u>ア 明確な責任体制の構築</u> <input type="checkbox"/> 企画運営会議を毎週開催し、意思決定を行う。 <u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u> ■各専門性に応じた適正な人員配置を行います。	[実施内容と達成状況] ■企画運営会議を毎週開催し、意思決定を行いました。 (4/1, 8, 15, 22, 29、5/6, 13, 20, 27、6/3, 10, 17, 24、7/1、8, 15, 22, 29、8/5, 12, 19, 26、9/2, 9, 16, 23, 30、10/7, 14, 21, 28、11/4, 11, 18, 25、12/2, 9, 16, 23、1/6, 13, 20, 27、2/10, 17, 24、3/3, 10, 17, 24, 31) ■専門性に応じた人員配置を実施。新たに広報チームリーダーを配置しました。

高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。		
------------------------	--	--

(2) 人材育成

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設における組織力の向上のため、人材育成に取組みます。 ●MBOによるOJTを積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。 ●ホール独自の研修として、レセプション研修、職員への個人情報研修、危機管理訓練を実施します。 ●事務局研修への参加 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■MBOの目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。 ■レセプション研修: 6 (1) 参照 ■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくりま 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■MBOの目標設定、中間・期末時の個別面談を通じ、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行いました。また、一人ひとりの習熟度に合わせOJTでもきめ細かく指導を行いました。 ■受講必須の財団研修をはじめ、横浜市研修など積極的にスタッフを参加させました。
--	--	---

10 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■定められた内容で加入し、速やかに対応しました。
--	--	---

(2) 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底 ■個人情報チェックリストによる点検実施 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■個人情報取り扱いマニュアルの周知徹底を会議等にて行いました。 ■個人情報チェックリストによる点検を隔月で実施しました。
---	---	--

(3) 情報公開

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公の施設の管理者として、説明責任を果たす観 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行う体制を調べました。公開請求はありませんでした。
--	---	--

点から、情報公開に対し積極的に取り組みます	います。	
-----------------------	------	--

(4) 市および関係機関等との連絡調整

取組内容] ●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。	[達成指標] ■政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等すみやかにいきます。	[実施内容と達成状況] ■都度、速やかに財団事務局および横浜市に報告しました。
--------------------------------------	--	--

1 1 収支決算額について

収支決算書

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	465,491,000	465,491,000	0	
市委託料収入	18,370,000	18,709,860	339,860	
利用料金収入	203,954,000	209,134,240	5,180,240	下期利用が想定を上回る。
事業収入	196,760,000	199,612,869	2,852,869	
助成金・協賛金	45,775,000	61,568,544	15,793,544	国際交流基金助成金増
その他収入	1,778,000	2,541,181	763,181	
合計	932,128,000	957,057,694	24,929,694	

支出					
人件費	208,334,000	193,572,051	△14,761,949	人員配置による差違	
管理費	320,526,000	315,061,319	△5,464,681		
内訳	光熱水費	135,046,000	134,089,687	△956,313	
	修繕費	5,930,000	1,625,961	△4,304,039	日常点検による修繕執行の最小限化
	委託費ほか	179,550,000	179,345,671	△204,329	
事業費	274,163,000	309,153,932	34,990,932	「竹取物語」製作費増	
事務費	99,181,000	92,646,572	△6,534,428	外部委託削減	
負担金	29,924,000	24,314,060	△5,609,940		
合計	932,128,000	934,747,934	2,619,934		

収支差額	0	22,309,760	22,309,760	
------	---	------------	------------	--